

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒158-8530 東京都世田谷区用賀4丁目10-1

TEL: 03-5717-1122 FAX 03-5717-1199

本資料はCaterpillar米国本社が2017年10月24日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

Caterpillar Inc. 2017年 第3四半期業績を発表

エンドマーケット改善と継続的なオペレーションのパフォーマンスへの注力功奏により
力強い四半期業績を達成

(単位：10億ドル、但し1株当たり利益除く)	第3四半期	
	2017	2016
売上高	\$11.4	\$9.2
1株当たり利益	\$1.77	\$0.48
調整後1株当たり利益	\$1.95	\$0.85

- ・ 第3四半期売上高は前年同期比で20億ドル超増加
- ・ オペレーションのパフォーマンスが業績向上に大きく寄与
- ・ 2017年通年売上高見通しは約440億ドル
- ・ 2017年通年1株当たりは約4.60ドル(調整後1株当たり利益見通しは約6.25ドル)

(イリノイ州ディアフィールド発) - Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2017年第3四半期業績を発表しました。四半期売上高は114億ドル(前年同期は92億ドル)、1株当たり利益は1.77ドル(前年同期は0.48ドル)となりました。事業再構築費用を除いた2017年度第3四半期調整後1株当たり利益は1.95ドル(前年同期の調整後1株当たり利益は0.85ドル)となっています。

財務状況は今四半期も引き続き良好です。機械およびエネルギー・運輸(ME&T)事業の今四半期の営業キャッシュフローはおよそ6億ドルで、負債資本比率は第2四半期末時点の38.6%から36.1%に改善されました。結果、全社現金残高は、96億ドルで第3四半期末を迎えました。

CaterpillarのJim Umpleby(アンプレビー)CEOは、「売上数量増と社内のコスト規律の高さが主要3部門全体での利益拡大につながりました。」と述べました。

2017年見通し

中国の建設業、北米のオンショア(陸上)での石油・ガス事業、鉱山各社での投資拡大を含め、多くの地域およびセクターで引き続き力強い動きが見られます。これを受けてCaterpillarは現在当社サプライチェーンとともに、改善を続けるこれらの市場のお客様需要を満たすべく、生産レベルの引き上げを図っています。

Caterpillarは2017年7月、2017年の売上高通年見通しを420~440億ドルの幅(中央値430億ドル)と発表しましたが、現段階での通年売上高見通しはおよそ440億ドルです。同じく、通年での1株当たり利益通年見通しについては4.60ドル(調整後では6.25ドル)としています。従来見通しでは、売上高が予測幅の中央値であった場合で1株当たり利益は3.50ドル(調整後では5.00ドル)となっていました。なお現時点で、2017年中の事業再構

築費用として 13 億ドル（従来見通しでの 12 億ドルから若干増）を見込んでいます。また、この見通しには**年金および OPEB (Other Postretirement Employee Benefits : 年金以外の退職後給付)** プランの再評価に伴う時価評価損益は含まれていません。その最終的な影響は年度末まで判明しませんが、第 3 四半期末時点での情報に基づく、利益にマイナスの影響が及ぶ可能性があります。

アンプレビー CEO は、「堅調な実績に基づき、通年見通しを引き上げます。当社は引き続き、オペレーションの卓越性、お客様へのソリューション提案の強化とサービスの拡大に基づく『収益性のある成長』を目指す新戦略を実行していきます」と述べました。

以 上

キャタピラー社について：

建設機械の歴史は、1925 年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。また、1963 年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。